

名古屋大学学術機関リポジトリ

NAGOYA Repository

への学位論文登録について



名古屋大学  
医学部 保健学科

# NAGOYA Repositoryとは

- 名古屋大学の学術機関リポジトリです。
- 学術機関リポジトリとは...  
Institutional Repository (=IR)  
大学等の学術機関で生産された電子的な知的生産物を保存、無償で公開することを目的とした、電子書庫のこと。

# リポジトリのメリット

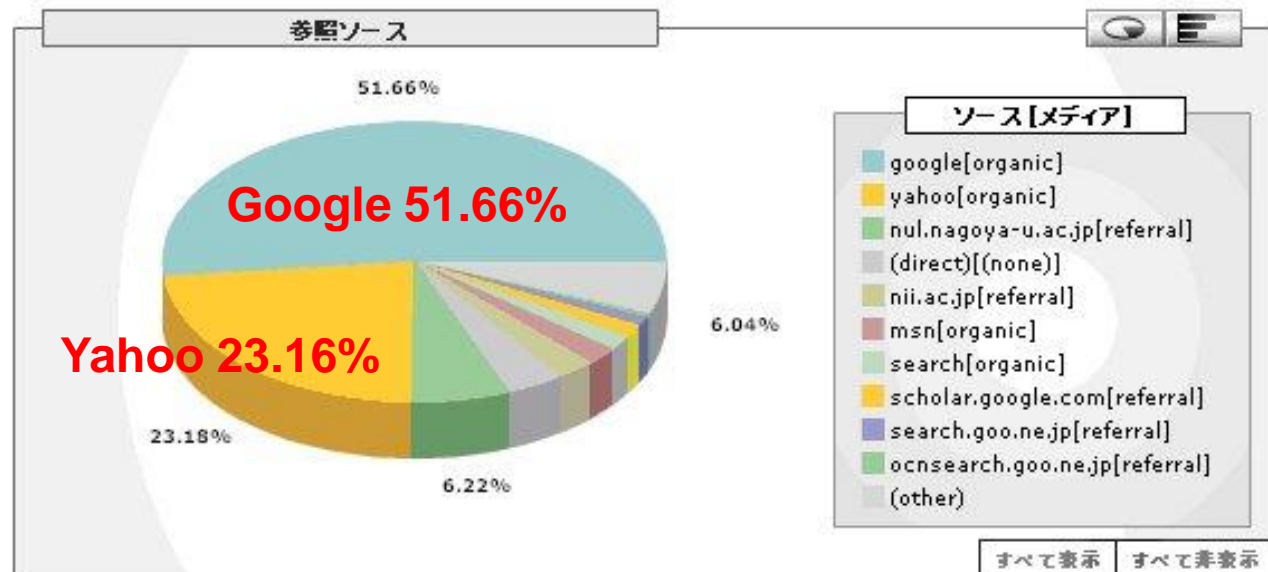
- 大学によって、責任持って研究成果を次世代へ継承できる
- アクセスが永続的に維持される
- 研究成果のVisibility(視認性)の向上  
→ より多くの読者を獲得！
- 文献の被引用率がUP
- 研究成果を社会に還元できる

# 登録できる成果物

- 学術掲載論文など
  - 学術掲載論文
  - 学会発表論文
  - 国際会議報告
  - プレプリント
- 大学固有のコンテンツ
  - 学位論文
  - 紀要
  - 教材

# Googleでもヒット

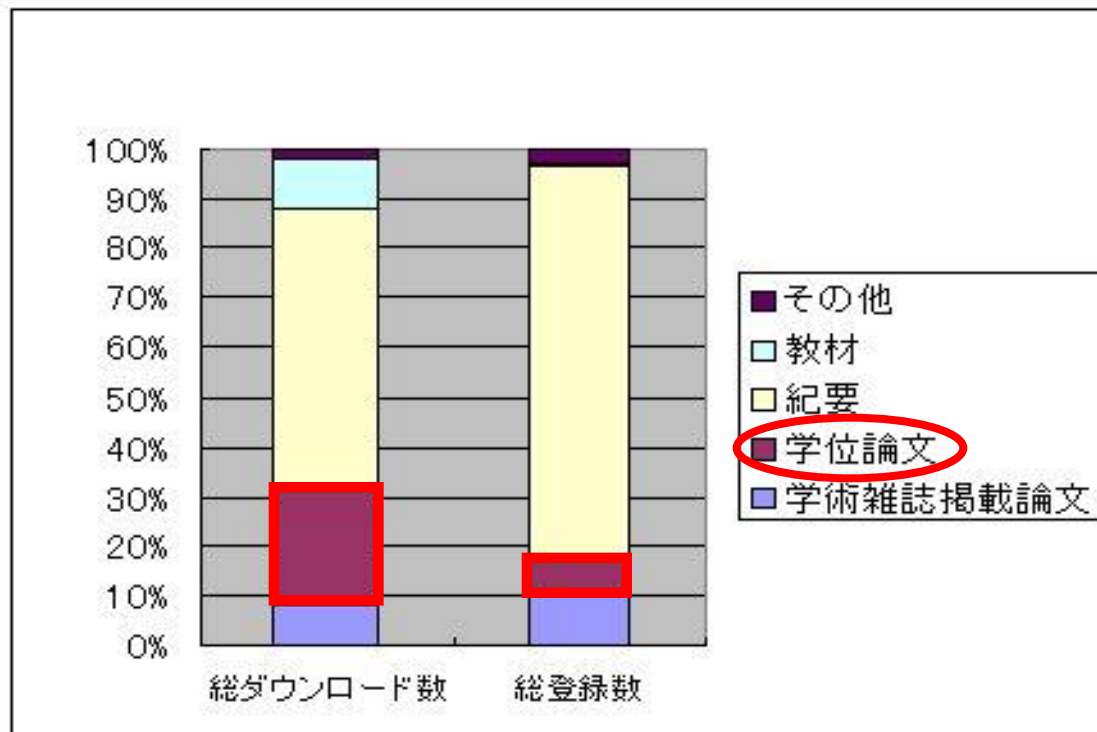
- 登録されたコンテンツは、外部の検索システムから検索されることが多い
- ソース別の訪問者数



2007.1現在

# 学位論文の需要

- リポジトリの中で、特にダウンロード数が多いコンテンツ・・・学位論文



2007/6/1現在

名古屋大学学術機関リポジトリ

NAGOYA Repository

# 学位論文の利用

- 日本の博士論文  
印刷公表されるのはごく一部

印刷公表されないもの



全文を閲覧できるのは国会図書館か  
その大学の図書館や研究室のみ



利用しづらい！！

# (世界の動き)NDLTD

=Networked Digital Library of Theses and Dissertations

- 北米の大学等が参加する電子学位論文のポータルサイト
- 学位論文の電子化を推進、学位論文を保存・発信

The screenshot shows the NDLTD website interface. At the top, there is a navigation bar with the NDLTD logo and the text "Browse/Search ETDs". Below this, there are several menu items: "Browse/Search ETDs", "Submit ETD", "Community Activities", and "Research Projects". The main content area is titled "Browse or search through several ETD collections, typically across multiple institutions at once. Select the collection / service you would like to search or browse through". Below this, there are three sections: "Search and Browse ETDs - Production Services", "Contribute to the Union Archive", and "Search and Browse ETDs - Research/Experimental Services". Each section contains a list of links to various search and discovery systems. On the left side, there is a vertical navigation menu with links for "ABOUT NDLTD", "DOCUMENTATION", "JOIN NDLTD", "SUBSCRIBE", "RELATED LINKS", "ETDS IN THE NEWS", "CONTACT NDLTD", "ADMIN LOGIN", and "GO TO OTHER LANGUAGE: SELECT LANGUAGE".

NAGOYA Repositoryに  
登録されている博士論文の  
検索も可能

名古屋大学学術機関リポジトリ

content

NAGOYA Repository



# (学内の動き) 情報科学研究科



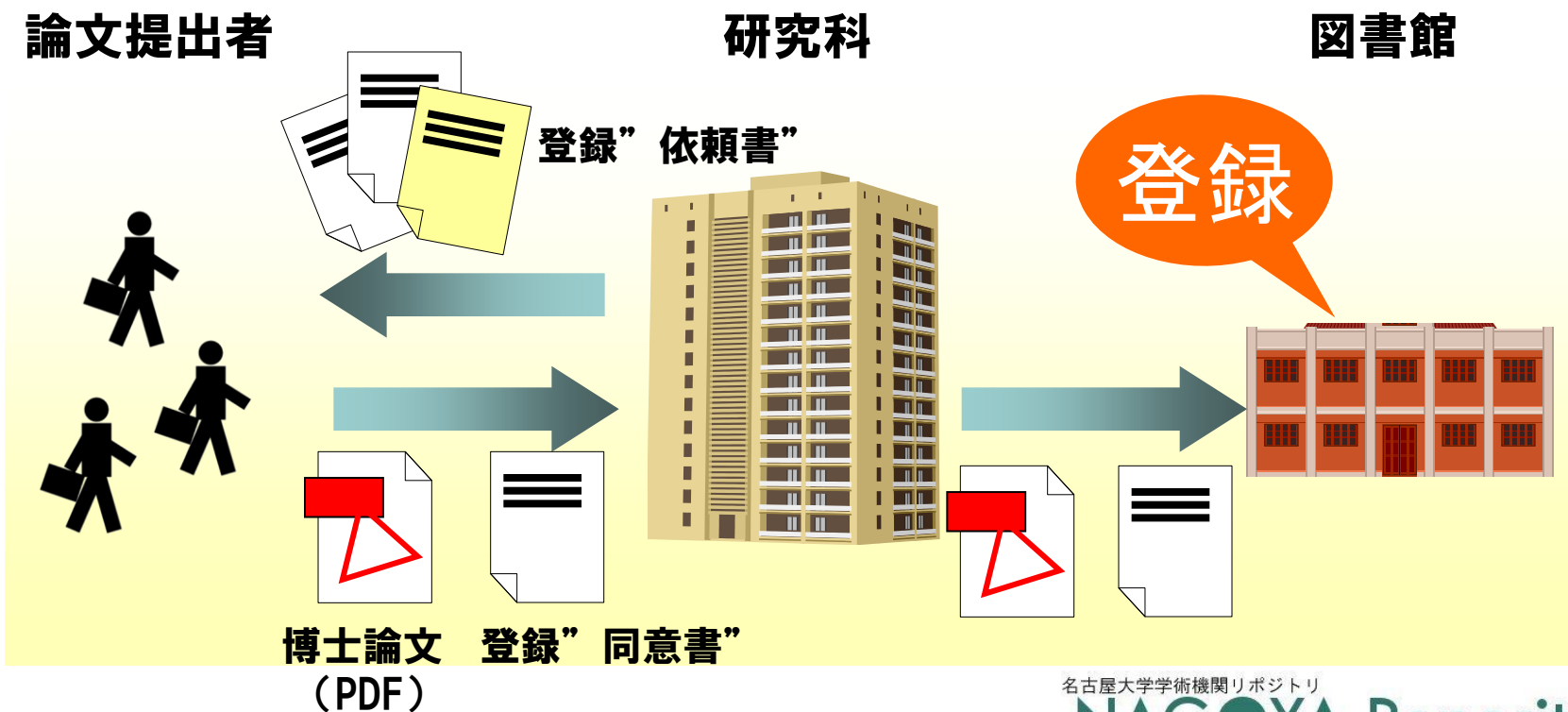
- 学位授与： 2005年度～
- リポジトリへの登録
  - 2006年度スタート
  - 2005年度分も遡って対象に
- 登録システム
  - 研究科(論文主査、教務)と図書館の連携
  - 論文提出プロセスへの組み込み

# (学内の動き) 情報科学研究科



## ○ 登録システム

- 研究科と図書館の連携
- 論文提出プロセスへの組み込み



# (学内の動き)全学

- 論文提出プロセスへの組み込み(制度化)
  - 情報科学研究科
  - 工学研究科
- 他部局:教務委員会などで検討中
  - 許諾範囲の問題:本人だけのもの?
  - 著作権処理 etc.

部局・研究分野の事情に即した登録制度

# 保健学科の学位論文

- 学位授与:2006年度～
- 博士論文の保存
  - 中央図書館(別キャンパス)
  - 学科内では未定(専攻ごと?)
- 学位論文の利用
  - 先行研究の調査
  - 社会人学生の存在(10/1～土曜開館スタート)  
→いつでも、どこでも見たい

# 登録制度化の留意点

- 共著の場合
  - 共著者の掲載許諾が必要(口頭でも可)
- 登録いただきたい論文
  - 提出した論文(主論文)のデジタルファイル
  - 出版された論文を提出する場合は、出版社の許諾する版のデジタルファイル(※)
    - ※通常、著者最終稿(査読済み著者稿)の場合が多い
- その他
  - 附属図書館にて個別に協議・対応

# 最後に

- 将来にわたってデジタル保存
- アクセスの向上
- 保健学科からの情報発信
  - 「うちの博論はすべてウェブで見れます」
  - 学科ウェブサイトから個々の論文へリンク